

特別支援教育の充実に向けて

江東特別支援部通信

Vol. 3

令和7年9月19日

都立江東特別支援学校長

浅見 信彦

(文責: 石垣 祐子)

平素より本校の教育活動への御理解、御協力をいただきありがとうございます。今号では地域と連携した活動の様子について御報告いたします。一つは夏季休業中に行われた都立深川高等学校との書道交流について、もう一つは3年連続参加の「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭2025」について御紹介します。

都立深川高等学校書道部と書道交流 「総合文化部」



都立深川高等学校書道部との交流活動も、早いもので10年目となりました。3年前からはイースト21でのイベントにも一緒に参加させていただき、生徒たちにとって貴重な体験となっています。

夏季休業中に総合文化部の生徒と都立深川高等学校の書道部1年生が合同ミーティングを行い、曲に合わせながら書く文字の順番や担当などを決めて一緒に動きの練習をしました。今回のテーマ「夢を描け 青春の瞬間」は総合文化部の生徒たちが考え、用紙のイラストや飾りもすべて生徒たちが考えを出し合って作りました。深川高等学校で行った書道部との合同リハーサルでは、書道部の皆さんと一緒に曲に合わせて大きな紙に文字を書く練習をしました。

本番では総合文化部の生徒たちは書道部の皆さんにアシストしていただきながら、音楽に合わせてしっかりとパフォーマンスすることができました。

昨年のイベントに参加して経験している生徒も数名おりますが、多くは書道パフォーマンスをするのが初体験の生徒たちです。本番では大勢の観客を前に緊張した様子でしたが、持ち前の勝負強さを發揮して堂々とやり切ることができました。イベント終了後の生徒たちの笑顔は輝いていて、まさに青春の瞬間を感じた交流となりました。

(総合文化部顧問 石垣 祐子)



今年も参加します！

アートパラ深川おしゃべりな芸術祭2025

「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭 2025」は障がいのあるアーティストを中心とした市民芸術祭です。

今年は10月18日（土）～26日（日）の期間で行われ、門前仲町、清澄白河、森下、（豊洲エリア）（9月20日～27日）の街の様々な場所がアートの会場になります。期間中、街中にアートを飾り様々なイベントが開催される予定です。本校も昨年に引き続き「ハートのオブジェ」で参加します。生徒全員で2体の大きなハートのオブジェにマスキングテープを自由に貼り、共同作品を制作します。この作品は「森下文化センター1階展示ロビー」に展示される予定です。

また、両科の3年生が小さなハートを作り、モビールのようにつなげたり、アクリルボードに貼ったりして表現します。街中を飾るアートは最近の深川の秋の風物詩になりつつあります。

秋の一日を深川界隈で芸術に触れてみてはいかがでしょうか。



昨年の展示の様子（清澄庭園にて）

〔スクールカウンセラー相談〕

今年度はスクールカウンセラーが週2日来校しています

毎週木曜日、金曜日にカウンセラーが来校します。学校生活や家庭でのこと、友達のこと、その他どんなことでも、スクールカウンセラーがあなたのお話を聞いてくれます。予約制ですので、担任または特別支援教育コーディネーターに御連絡ください。

*普通科1年:近藤・山口 2年:野呂・魚谷 3年:矢後

*職能開発科:石垣



東京都立江東特別支援学校

〒135-0016 江東区東陽4-11-45 電話 03(3615)2341 フaximili 03(3646)5893

副校長 有上 真理

特別支援部主任 近藤 智子

特別支援教育コーディネーター <チーフ・職能開発科> 石垣 祐子

<普通科1年>近藤 智子 ・ 山口 美奈子

<普通科2年>野呂 由紀子 ・ 魚谷 海飛

<普通科3年>矢後 大地